

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	町有林管理委託事業		基本目標	適切な森林整備の推進		
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	山本 勇樹	評価者	長町信幸
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 高鍋町所有の山林						
	意図・目的 町有林の保護、管理による自然災害防止。						
事業の内容	町有山林に植栽したケヤキ、イチイガシの幼齢木の適正な保護育成のため児湯広域森林組合に下刈を委託する。						
22年度決算額	214	千円	23年度予算額	215	千円	事業従事者数 H22 0.30 人 H23 0.30 人	
主な支出項目	委託料	214	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費 2,159 千円
			千円	県支出金		千円	23年度人件費 2,141 千円
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23) 100.0 %
			千円	一般財源	215	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください
			千円			千円	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名			
	補助交付団体			補助金要綱			
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額 円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等		
		補助の割合	#N/A	%			
繰越額		#N/A	円				

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 下刈の実施箇所	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う。
	2 下刈の委託回数	下刈を森林組合に委託する(大平寺・職司)。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 下刈の実施確認	下刈実施箇所の着手前後の確認(写真撮影)。
	2 大平寺の下刈実施面積	下刈面積確認(下刈は森林組合に委託)。
	3 職司の下刈実施面積	下刈面積確認(下刈は森林組合に委託)。

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	下刈の実施箇所	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%		
	下刈の委託回数	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%		
0	目標値					
	実績値					
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標	下刈の実施確認	目標値	4	4	4	
		実績値	4	4		
		達成率	100.0%	100.0%		
	大平寺の下刈実施面積	目標値	m <sup>2</sup>	11,600	11,600	11,600
		実績値	m <sup>2</sup>	11,600	11,600	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	職司の下刈実施面積	目標値	m <sup>2</sup>	3,400	3,400	3,400
		実績値	m <sup>2</sup>	3,400	3,400	
		達成率	%	100.0%	100.0%	

事務事業名	町有林管理委託事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必要性)	町有林の財産であることから管理者である町が行うべき事業。事業を廃止した場合、植栽したケヤキ、イチイガシが幼齢木のため、下層植生の影響による生育遅延や病虫害被害を受ける恐れがある。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-	
有効性	植栽したケヤキ、イチイガシの幼齢木が順調に生育しており、将来、町有林の土砂災害防止に資することが見込まれる。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	平成19年度当初予算査定で事業費が1/2に削減されており、事業遂行上、これ以上の削減は困難。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	現地が傾斜地であり、危険性を伴うので適当ではない。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)			15	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性)	◎公益性が高いか				
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること				
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか				
	◎町民の理解が得られる事業であるか				
合計(最高4点)					0
その他					

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町有林の保護管理による自然災害防止のためには必要な事業である。	今後の方向性				
			拡充				○
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
				廃止	縮小	現状維持	拡充
				コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎現在は最低限の管理を行っているが、将来的な価値向上・山林の保全管理のためにも費用の拡充は必要であると考え。 ◎町有林の管理は大変必要な事業である。特殊な分野であるので、現状の管理しれないと判断する。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	